

高齢者等移動支援事業（定額乗合タクシー）の実証実験について

1 目的

既存の公共交通手段を利用することができない移動困難者を対象に、実験的にドアツードアの移動支援を、昨年度に引き続き、今年度も実証実験を行う。

高齢者等の移動ニーズを把握して、既存の公共交通への影響を検証し、高齢者等の外出を促進するための新しい移動手段を検討する。

2 昨年度のN-タク実証実験結果の概要

(1) 利用者数

ア 延べ利用回数

696回（1人あたりの平均利用回数：4.6回）

イ 実利用人数

152人（赤あつたかあど保有者に占める割合：3%）

ウ 1日あたりの平均利用者数

9月：14.2人
10月：20.0人
2か月間平均：17.4人

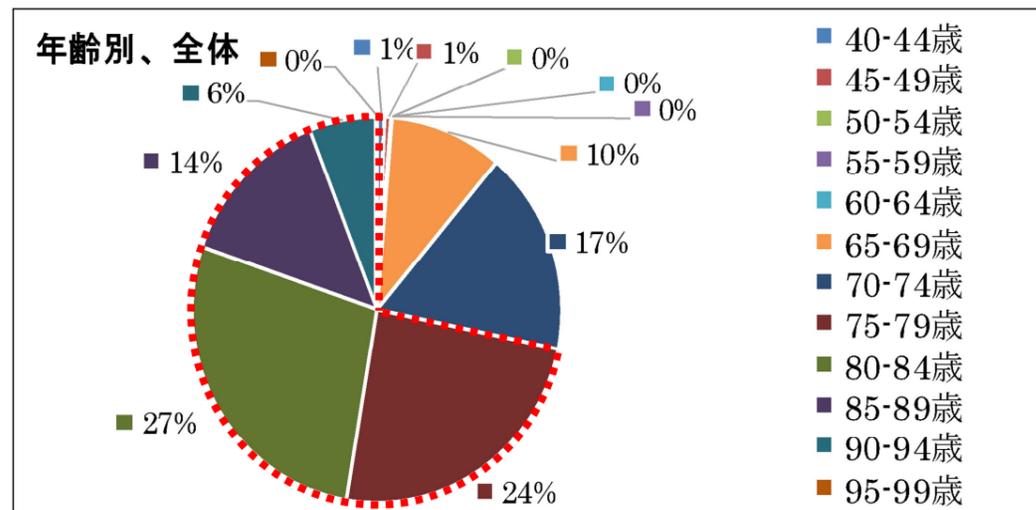
エ 乗合率

4.65%

(2) 前回の実証実験を通じて分かった傾向と課題

ア 利用者

- 赤あつたかあど保有者に占める実利用人数の割合は、3%と少なかった。
- 利用年齢層は、75歳以上が全体の71%を占めた。

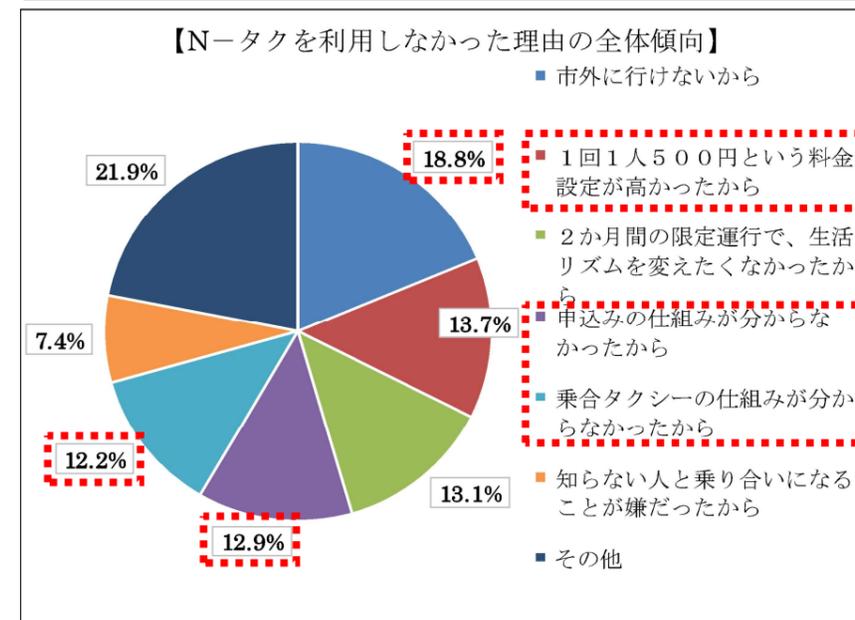
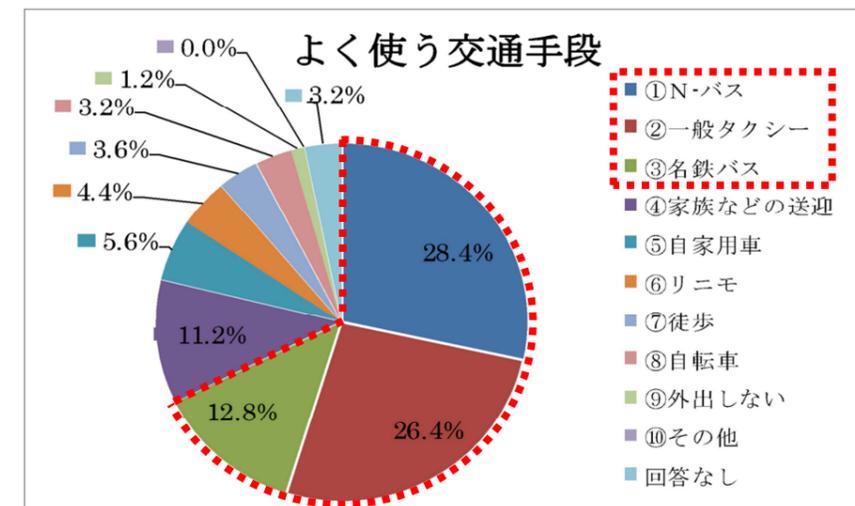


イ 利用時間帯

- ピークは、午前9時～午前10時の2時間で37.3%を占め、運行開始時の予約が集中した。
- 終日3台で運行したが、ピーク時間帯でも余裕があった。

ウ アンケート

- 普段は他の公共交通（N-バス、一般タクシー、名鉄バス）を利用している割合が67.6%を占めた。
- 利用しなかった人（65歳以上）のN-タクの認知度は、85.3%と高かった。
- 利用しなかった理由として、改善余地のある「1回1人500円という料金設定が高かったから」「申込みの方法が分からなかったから」「乗合タクシーの仕組みが分からなかったから」が挙げられ、これらを合わせた割合は、43.9%を占めた。



3 昨年度の実証実験を踏まえた今年度実証実験の概要と改善事項

平成30年度と今年度実施内容（※昨年度からの変更箇所を赤字）及び変更理由は下表に示すとおりである。

項目	平成30年度	今年度	変更理由
(1) 実施時期	9月～10月 (2か月間) ※平日のみ	9月中旬～11月中旬 (2か月間) ※平日のみ	・NーバスのOD調査の時期（9月上旬）と重ならないようにするため。
(2) 運行時間帯	7：45～16：15	8：00～16：30	・運行時間帯を後ろに長くして欲しいとの意見があったため。
(3) 対象者	あったかあど保有者 ・65歳以上の市民 約5,000人 ※12歳以上の障がい者も含まれる	①一般利用者 ※事前登録制 ・75歳以上の市民 R元6.1現在 (あったかあど保有者数 2,740人) ・12歳以上の障がい者 ・運転免許自主返納者 ・要支援・要介護者 ・介護事業対象者 ・運転免許非保持者(65歳以上)等の移動困難者	・前年度の実証実験で他の公共交通を利用している人が67.6%と高かったため、対象年齢を狭めた。 ・昨年度の実証実験で75歳以上が全体の71.6%を占めたため。 ・平成29年度の市民アンケート調査で、「最寄りのバス停までの徒歩移動の困難さの回答割合」は、75歳以上で高い傾向にあったため。 ・より移動困難と考えられる対象者に絞り、他の公共交通との利用対象の重複を回避するため。
		②モニター(新規) ※事前登録制 ・対象者層は一般利用者と同じ	・昨年度の実証実験で、対象者に占める実利用人数の割合が3%と少なかったことから、より多くの高齢者の潜在的な移動実態を把握するため。
・対象者に事業の趣旨を広める者の確保	—	③事業周知者(新規) ・単位シニアクラブの代表 19人 ・民生委員 63人 ・地域高齢者・障がい者サロンの代表 32人 ・ケアマネージャー 30人	・昨年度の実証実験で、乗合タクシーの仕組みや申込み方法が分からず、乗らなかったという理由が多かったため。 ※主な役割は情報発信。リハーサル期間(実証実験前の2週間)に、乗合タクシーを体験して利便性を認識してもらい、口コミやチラシで事業周知し、一般利用やモニターの登録につなげる。
(4) 利用方法	電話、スマホ (当日予約)	電話、スマホ (一週間前から予約可)	・営業開始直後の予約集中の分散化と、乗合率の向上に向けて運行事業者が調整する余裕を確保するため。
(5) 利用可能エリア	市内全域	市内全域	・高齢者等移動事業の目的はあくまで既存の公共交通の利用ができない方への事業であるため、市外(藤が丘)乗り入れは考えない。
(6) 料金	500円	①300円/人・回(片道) ②無料乗車回数券20枚配布 (※使い切った場合、300円/人・回で利用可) ③無料 ※介添人：300円/人・回(片道)	・昨年度の実証実験で、利用しなかった理由で500円/人・回の料金設定が高いという理由が多く、料金変更による利用者数の変化度合いの検証をするため。